

## 令和7（2025）年度 資源評価調査状況報告書（拡大種）

### ハツメ日本海

対象水域	日本海 (青森県～島根県)	参画機関名	海洋生物環境研究所、水産研究・教育機構 水産資源研究所 底魚資源部、青森県産業技術センター水産総合研究所、秋田県水産振興センター、山形県水産研究所、新潟県水産海洋研究所、富山県農林水産総合技術センター水産研究所、石川県水産総合センター、福井県水産試験場、京都府農林水産技術センター海洋センター、兵庫県立農林水産技術総合センター但馬水産技術センター、鳥取県水産試験場、島根県水産技術センター
------	------------------	-------	--

- ・ 令和6年度資源評価調査報告書を公表済み（[https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2025/03/trends\\_2024\\_169.pdf](https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2025/03/trends_2024_169.pdf)）、次回令和9年度を予定

#### (1) 調査の概要

- ・ 海洋生物環境研究所は各種資料の統括を実施
- ・ 各府県は漁獲統計の収集を実施
- ・ 機構は各府県漁獲情報の集約、日本海西部（トロール）・北部（桁網）による資源分布調査を実施
- ・ 本年度は資源評価調査報告書の作成は行わず、漁獲統計等の更新および関連情報の収集を実施

#### (2) データ収集状況

- ・ 青森県では主要21港（日本海側～陸奥湾）の2007年以降の漁業種類別年間漁獲量と2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 秋田県では2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 山形県では2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 新潟県では2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 石川県では主要10港の2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 福井県では一部の漁港（三国と福井）における2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 京都府では2015年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 鳥取県では2011年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 島根県では2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み

- ・青森県では主要21港（日本海側～陸奥湾）の2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・機構は各府県の漁獲量集約、2025年の調査船による資源（分布）調査データの整理を実施

### (3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：令和6年度資源評価調査報告書を参照 ([https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2025/03/trends\\_2024\\_169.pdf](https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2025/03/trends_2024_169.pdf))
- (2) 年齢・成長：同上
- (3) 成熟・産卵：同上
- (4) 被捕食関係：同上

### (4) 備考

- ・日本海西部トロール調査と日本海北部桁網調査の資料に基づく解析の高度化が重要
- ・本種に対する沖底の漁獲圧が年代によって大きく異なることが想定されるため、本データを利用した解析手法の再検討が必要